

kusakanmuriの
いちおし!

kusakanmuri フラワースタylistに、
冬におすすめの草花を聞いてみました。

◀ フランネルフラワー

全体が白いぶ毛におおわれ、
布のようにやわらかい質感が
魅力の花。あたたかみのある
風合いは、冬のアレンジメント
を引き立てます。(井上夕美)

ヒバ(ブルーバード) ▶

森を感じるさわやかな香りと、
緑色が特徴的。やわらかくカー
ルした葉先は、クリスマスリース
のアクセントに。(中山優香)

◀ シルバープルニア

不思議な形と、他の植物には
ない深みのあるシルバーの色
合いが個性的な実ものです。ド
ライフラワーとしても長く楽し
むことができます。(中山千裕)

Christmas Gift

クリスマスシーズンにぴったりな、
ナチュラルであたたかみのある商品
をご用意しました。
お歳暮ギフトにも最適です。

Christmas Wreath



森の木の葉のリース



聖なるグリーンのリース



Tronc de kusakanmuri
トロン・ドゥ・クサクナムリ [草冠の木]
もみの木

Christmas Tree

クリスマスリース Sサイズ 4,000円(税抜)〜、クリスマスツリー Sサイズ 8,000円(税抜)〜

オンラインショップ、店頭にてご注文を承ります。
<http://shop.kusakanmuri.com/>

全国へ配送します。

早期割引キャンペーン

12月1日(日)までに

ご注文の方は、

10% オフになります。

12月のレッスン

クリスマス进行に合わせた
レッスンが勢ぞろい。
手づくりの作品で、
クリスマス支度をしませんか。

〈料金〉

✦ フラワーレッスン (8,000円)

✦ ハンドメイドレッスン (5,000円)

✦ ハンドメイドレッスン (3,500円)

✦ 親子レッスン (3,500円)

※すべて税抜

クリスマスレッスン キャンペーン実施中

11月〜12月のレッスンを受講された
方に、もれなく以下の特典が付きま

- 1 全員に、200〜500円相当の
ボーナスポイントをプレゼント!
- 2 ご家族やご友人と一緒に
お申し込みの方は
ボーナスポイント2倍!
- 3 全員に、プチクリスマスギフトを
プレゼント!

レッスンについての
お問い合わせ・お申し込みは、
kusakanmuri 店頭、ウェブサイト、
お電話にて受け付けております。

※2013年11月6日現在

✦ DIYのクリスマスツリー

岡本典子



モミの木やヒバで土
台をつくり、好きな
実やドライになる花
を選んで飾り付けま
しょう。

✦ フォレストガーデナリース

RARI YOSHIO

12月6日(金) 13:00 / 12月7日(土) 13:00

マットなグリーン色
のヒバに実ものやリ
ングを入れて、冬の
森をイメージしたリ
ースをつくりま



✦ ニットボトル

RARI YOSHIO

12月6日(金) 16:00

ガラス瓶のまわりを、
やわらかい毛糸で編
み込みます。花器に
もなるので、冬のイ
ンテリアとして花を
飾っても素敵です。



✦ 森のクリスマスフレーム

RARI YOSHIO

12月7日(土) 16:00

組み立てた木のフレ
ームに、ドライになる
ヒバや実ものをあし
らい、試験管をつる
して壁掛けの一輪挿
しをつくりま



✦ リトルモスハウス

Cui Cui

12月8日(日) 13:00

絵本の中に出てくる
ようなかわいい小屋
を、白樺やモスでつ
くりま



✦ 森の恵みのクリスマススワッグ

Cui Cui

12月8日(日) 16:00

クリスマス イメー
ジした植物を束にし
てつくりま



✦ 北欧のホワイトクリスマス

MY'S 今泉冴也 香

12月12日(木) 19:00

雪のような白い花と
マットな色の枝葉を
入れて、北欧の冬の
森をイメージしてア
レンジしま



✦ 雪降る聖夜のクリスマスアレンジメント

松本由利

12月14日(土) 13:00

グリーンが茂る森に
雪が積もっているよ
うな雰囲気。キャン
ドルの灯火で一層ロ
マンチックになる
で



✦ ニードルフエルトでつくるクリスマスカード

森貴容子

12月15日(日) 13:00

フランス語のクリ
スマソングを聴きな
がら、ニードルフ
エルトでオリジナル
のカードをつくりま
しょう。



✦ 新しい春を迎える芽吹き

岩尾真紀

12月15日(日) 16:00

松や椿など異なる質
感の葉を土台に、ヒ
ヤシンスや柳をいけ
て、正月まで楽しめる
リースアレンジメ
ントをつくりま



✦ ~tiny tree~

ミニクリスマスツリーをつくろう

岡本典子

12月18日(水) 14:30

クリスマスにぴった
りなミニツリー。ヒ
バで土台をつくり好
きな実ものや糸を選
んで飾り付けま



✦ コットンフラワーの冬支度

徳永真理子

12月22日(日) 13:00

コットンフラワーや
毛糸のオーナメント
を使って、ナチュ
ルの灯火で一層ロ
マンチックになる
で



✦ kusakanmuri の提案する大きなリース

Couronne de rêve クロヌ・ドゥ・レーヴ [夢の環]

終わりが無い円形のリースは、
古来より幸福と栄光のシンボル
として家々に飾られてきました。
kusakanmuriの店頭でも、大
きなリースを掲げてみなさまをお
迎えています。成功と発展へ
の願いを込めて、開店祝いや新
築祝いのギフトとして贈って
みてはいかがでしょうか。

80cm 50,000円(税抜)〜



ウィンターセールのお知らせ

期間: 12月11日(水)〜27日(金)

会員のみなさまに向けた、お得なセールの
実施します! ぜひ足をお運びください。

✦ フラワー・グリーン商品は
一部20%オフ。
✦ 書籍、雑貨を割引販売。
✦ ティールームのご利用で、
プチギフトプレゼント。



- JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン
恵比寿駅西口徒歩4分
- 東京メトロ日比谷線 恵比寿駅4番出口徒歩2分

※ グリーンのフラッグが目印です



kusakanmuri

〒150-0021

東京都渋谷区恵比寿西1-17-2

tel: 03-6415-4193

<http://www.kusakanmuri.com>

open: 12:00 close: 20:00

火曜定休

12/28(土)〜1/5(日)は
お休みをいただきます。



Art Direction & Design : Concent, Inc.
Photo : sai
Text (Interview) : Noriko Fujioka

Books



年末年始にゆっくり読みたい
2冊をご紹介します。

『レター 01.』

「ミナ ペルホネン」が綴るメッセ
ージ集。どのページも切り取ることができ、
部屋に飾ったり人に贈るのに最適で
す。お気に入りのメッセージにのせて、
身近な人に気持ちを伝えたいと思います。
定価: 1,200円(税抜)
ミナ ペルホネン (ビー・エヌ・エヌ新社)

『仕事や人生や未来について 考えるときにアーティストが語ること —あなたはなぜつくるのですか?—』

38人のアーティスト達が考える「つ
くること」と「生きること」。自分と向き
合って作品をつくる彼らの言葉は力強
く、共感できることばかり。前に進む
ためのヒントがききと見つかります。
定価: 1,900円(税抜)
野崎武夫=編 (フィルムアート社)

心あたたまるハーブティーで
ゆったりと過ごす時間。

カモミール 新発売

気分を落ち着かせ、心身をリラックス
させる効果があります。青リンゴのよ
うな甘い香りです。
477円(税抜)

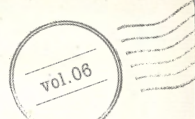
エキナセア 新発売

免疫力を高める効果があり、冬場の風
邪予防におすすめです。ほのかに草木
の香りが広がります。
477円(税抜)

Herb Tea



コロリの 白い花 みつけろ!



鎌倉野菊ミステリー

師走と聞き、こんな季節
こそゆったりした時間も大
切とばかり、鎌倉の銭洗弁
財天までのんびり散歩した。
冬のひだまりに薄紫のヨメ
ナやノコンギクが美しい。
由比ヶ浜へ向かう帰り道で、
見慣れない白い野菊を見つ
けた。家に戻り図鑑で調べ
ると、ユウガギク、ハマギ
ク、リュウノウギク、ノジギクなどが候補に残る。枝葉の形状からユウガ
ギクが消え、海岸という生息環境からハマギクでもない。リュウノウギ
クの葉には線香の原料にする竜腦に似た香りがあるそうだが、葉っぱに
まで触れなかったので不明だ。ややまるみを帯びた特徴的な葉の形から、
ノジギク(野路菊)ではないかなと目星を付けた。

詳しく調べると、ノジギクは兵庫県以西の海岸近くの山野などに自生
する、とあるではないか。鎌倉は海岸近くだが、兵庫県からははるか東。
風に乗って種が飛んで来た? いやいや、関西出身の家の主が故郷を偲ん
で株を移植した? それとも新種のカマクラノジギク発見!?

文・写真/田中見二 通称コロリ。1947年、長崎生まれ。教科書の
デザインや女性誌「クロワッサン」のアートディレクションなどに関
わる。



kusakanmuri



豊かな時を、こころで刻む

草冠通信

08

vol.
2013-2014 winter

フラワーショップ kusakanmuri より
冬の最新情報をお届けします。

豊かな時を、こころで刻む

クリスマスやお正月など、大きなイベントが盛りだくさんの冬。
仲間との楽しいパーティーや恋人とのロマンチックなデート、
家族と過ごすリラックスした休日の中で、かけがえのない一瞬、一瞬が生まれることでしょう。

時が経つにつれて忘れていってしまう大切な気持ちを贈りものにのせて、
こころに残る思い出に変えていきましょう。

贈る気持ちを演出するのにかかせないラッピングペーパーやカードのデザインを手がける
Bob Foundationのアトリエを訪ねました。



Interview Bob Foundation

贈りものをする予定が特になくても、好みのカードやラッピングペーパーに出会ったとたん、その出番をこころ待ちにしましょう、そんな経験はないでしょうか。「Number 62」には贈る気持ちを楽しく喚起してくれる、ラッピングペーパーやグリーティングカードがたくさんそろっています。デザイナーであるBob Foundationの朝倉充展さんと洋美さんに、制作の原点や贈りものにまつわるエピソードを聞きました。

「Number 62」をはじめたきっかけ

「もともとラッピングペーパーなどを小規模でつくってはいたのですが、2005年に『WRAP IT!』という何でも包んでしまおうというイベントをやったんです。それがすごく楽しかったんですね。」と洋美さん。手紙にまつわる経験もまたヒントに。洋美さんのお

母さんは大の旅行好き。「世界各地からポストカードが届くこともあって、それがとてもうれしいんです。」以前は彼女自身も必ず旅先からご両親にポストカードを送り、時には自分宛に書くこともあったという。空間、そして時間という距離をフィジカルに旅をする葉書のような“紙”には、思い出や気持ちを定着させる力があるのかもしれ



2005年「包もう!」がテーマの「WRAP IT!」展を開催。
上：さまざまな場所をオリジナルの包装紙で包むというアイデアのコラージュ作品。



右：自分たちの手で改装したアトリエは、カラフルな壁が特徴的。
上：ラッピングペーパーやカードを販売するミニショップも併設されている。



世界中の友人から送られてきた手書きのカード。



Photo : Mitsunori Asakura

ない。そしてその力に魅せられる人がたくさんいると感じたのは、自分たちのコレクションを商品として発売した時のことだった。「彼女（洋美さん）はレター用紙や封筒が大好きで集めていたんです。外国の封筒の裏地のデザインってとても凝っていたりして面白いんですよ。そういったものを袋につめて売って見たら、とても評判がよかったんです。それを自分たちがつくったものでやりたいと思いましたね。」と充展さん。

花を贈るということ

ロンドンの美術学校に通っていたこともあり、男性が女性に花を贈る文化に触れることも多かったふたりだが、充展さんはそれ以前にも実践をしていたという。「日本では男性だと花を買うのに勇気が必要ですよ。10代の頃、花を買う男性ってカッコいいなと思っていました。何か買うタイミングがないかなと思っていたときに、両親の結婚記念日があり、おこづかいを持って花屋さんに行っただけです。お花屋さ

んに、えらいね、と褒められたのをよく覚えています。」イラストレーションも多く手がけるBob Foundationの作品には、時おり草花も登場する。「草花って身近で、いい意味での簡単さがありますよね。だれもが好感を持つものだし、描いていて気持ちいいものです。」と洋美さん。

贈る気持ちに、アイデアのスパイスを

充展さんが教えてくれた彼ら自身の贈りもののエピソードは、クリエイターカップルらしい、とびきりのアイデアに満ちたものだ。「何回かお互いに、“しかけ”をつくってプレゼントを渡す、ということをやっていたんです。中でも特に印象的だったのは、“〇〇に行きなさい”という指示が書かれた手紙でした。その先に行くと、海外の友達の手書きによるまた別の指示がある、“上を見なさい”という風に。世界中の友達からの直筆のカードが指示でどんどんつながっていくんです。仲のよい友達の筆跡は一目でわかるので驚いて。進んで行くうちに、今度は

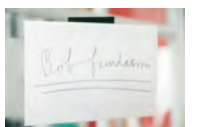
家を飛び出して、近所のコンビニの店長さんから指示を渡されたり。最後は家のリビングで両親がプレゼントを出して待っていました。」しかけ人はもちろん洋美さん。「実は準備は2ヶ月前から。ストーリーをつくり、友達に手書きのカードを送ってくれるように頼んでおいたんです。」予想外の展開に、カードをたどっていくその場ではうれしさよりも驚きのほうが勝ってしまったという充展さんだが、普段なかなか会えない世界中の友達が手書き文字で、一つ一つ扉を開けるように現れるこのしかけは、グリーティングカードをバーチャルなパーティーへと変えてしまう素敵なおアイデア。「Number 62」のカードやラッピングペーパーも、贈り手のさまざまな思いをのせて、人々をつないでいる。ワクワクさせるBob Foundationの世界の秘密は、贈ることを純粹に楽しむ朝倉夫妻の生活そのものにあるのかもしれない。

「Interview」では、kusakanmuriのコンセプトである「つくる、つながる」を実践しているさまざまな人たちをご紹介します。



Bob Foundation
(ボブファンデーション)

ロンドンの美術学校で出会った朝倉充展(あさくら みつり)・洋美(ひろみ)によるクリエイティブグループ。デザイン、アートディレクションを中心に活動。独自のペーパーブランド「Number 62」も手がける。



www.bobfoundation.com
www.number62.jp



Bob Foundationが手がける作品には、どこか楽しさとぬくもりがある。

Flower Arrangement & Bouquet

kusakanmuriがこの冬お届けするアレンジメント&ブーケ。家族や仲間と過ごす時間を、あたたかく彩ります。



ビュッシュ・ドゥ・ノエル
木の切り株に雪が降り積もったような、冬らしさあふれるアレンジメント。クリスマスパーティーにもぴったりです。
6,000円(税抜)



ブランネージュ
まるで雪を集めたように真っ白な花々を束ねたブーケ。このブーケにのせて、純真無垢な愛の気持ちを伝えてみてはいかがでしょうか？
6,000円(税抜)